

令和8年(2026年)4月20日(月曜日)

松毛川河畔に「富士山公園」



芝張りを行う参加者＝沼津市

GW三島 地元企業や県と連携整備

山の眺望が楽しめる「狩野川・松毛川富士山公園」を整備した。隣接する狩野川右岸の堤防工事で伐採されたエノキを使ったベンチ2基を設置した。

堤防工事によって当初は樹齢約130年のセンダンの木も伐採される予定だった。堤防工事を受注した加和太建設から相談を受けてGW三島が国土交通省などと調整し、国有地にセンダンを残しつつ約84平方メートルの公園を計画した。整備費は加和太建設が負担した。

公園整備にはGW三島のメンバーや同社社員に加え、両者と県が生物多様性の確保や保全を推進する協

定を結んでいる縁から、県職員も参加し、芝張りなどを行った。新たにエノキ2本も植樹した。

松毛川周辺は多様な野鳥やトンボなどが生息し、センダンも野鳥の餌場やすみかになっているという。GW三島の渡辺豊博専務理事は「公園は水と緑と生き物、富士山の景観がバランスよく整う。たくさんの人に景色を楽しんでもらいたい」と話した。

(三島支局・白本俊樹)

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は17日、同市と沼津市にまたがる松毛川の河畔に富士